



小金小だより 9月号

校訓 なかよく・ただしく・たくましく

令和5年 9月1日
松戸市立小金小学校
校長 西郡 泰樹

「まれにみる暑さ、さまざまな備えを…。関東大震災から100年」

夏休みが終わってしまい、2学期が始まりました。1年間の中で何事にも一番充実する2学期。かけがえのない1日1日を大切にしていきたいと思います。

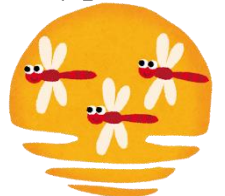
それにしても今年の夏の暑さは人類史上、まれにみる暑さでした。毎年、毎年暑い日が多くなってきており、気温も高くなっています。もうこの暑さだけで災害なのではないかと思われれます。こうした中、暑さからくる様々な問題も報道されています。熱中症はもちろんのことですが、自然への影響が心配です。農作物がうまくできなかつたり、魚などの不漁や漁獲されていた海域が変化したりと食生活にも深刻な影響を及ぼしています。海外では、広範囲の火事が起こっています。もう人間が安全に生活できる夏ではなくなってしまっています。これから毎年、夏はこうした状況になるのだとすると、人間側が生活を変えていかなければなりません。しかし、そもそも便利な生活を手に入れるために、大自然に逆らうことをしていた人類へのしっぺ返しが、今日のような状況を招いているようにも思えます。

災害といえば、9月1日は防災の日。これは大正12年(1923年)9月1日午前11時58分32秒に発生した関東大震災にちなんでいます。また二百十日あたりでもあるため台風の襲来に対し、備えを怠らないためにも、ということのようです。今年はその関東大震災から百年にあたります。小金小学校創立50周年の頃に起こった大きな災害です。100年前の様子は残念ながらわかりません。しかしそこから100年が経過し、また大きな地震がくると言われ続けて久しいですが、これまでに阪神大震災や東日本大震災を経験し、その備えの大切さはわかっているはずなのに、喉元過ぎればなんとやら、なかなか十分な備えはできていないのではないのでしょうか。

今日のこのような様々な災害に対して大切な心構えとしては、心の片隅にいつも意識しておくこと、そしてこれまでの災害から学んだ様々なことを生かすようにすること、そして何かの折に備えておくということを忘れないようにすることが自分たちを守ることになるのではないかと思います。もっとも、何事も起こらないことが一番よいのですが…。

大きな事故もなく無事に2学期を迎えることができました。こうして新学期がスタートできるのも、地域の皆様、保護者の皆様のおかげです。ご協力ありがとうございました。深く感謝申し上げます。2学期もこれまで同様ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

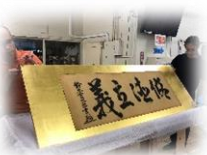
教育はみんなで 校長 西郡 泰樹



創立150周年記念式典にむけて…



夏休み中に、正門のリニューアル工事を行いました。久しぶりに登校して、びっくりしたお子さんも多いのではないのでしょうか。学校にお越しの際はぜひご覧ください。



職員玄関に飾られていた、鈴木貫太郎元総理の書もこの機に額装を直していただいています。式典当日にむけて、様々な準備を進めております。なお、記念式典で、音楽の発表やプロジェクトマップも行いますので、今年度は例年のような音楽発表会は実施いたしません。運動会同様ライブ配信を予定しております。